

八王子を舞台にした小説 Vol.2



<八王子度とは…>

作中で八王子が描かれている程度の目安を★の数で表しました。
★が多いほど八王子の描写が目立っている作品ですが、これはあくまでも目安です。
ぜひ、ご自身で読んでみて「八王子度」を確かめてみてください！

- ★★★★…ほぼ全体に八王子が感じられる作品
- ★★★…半分程度に八王子が登場し、重要な役割を果たしている作品
- ★★…八王子の地名等が登場する作品

タイトル・著者・出版年	八王子度	あらすじ
『カフネ』 阿部 暁子 2024年	★★★★	東京法務局八王子支局に勤める薫子と、急死した弟の元恋人せつなどの、交流の物語です。せつなの料理によって癒されていく薫子ですが、せつなにも、亡くなった弟にも秘密があって…。せつなが務めている家事代行サービスの仕事を通じて、関わる人々の苦しみを癒していく物語です。八王子に実在する場所が何度も出て来るので、ぜひチェックしてみてください。 (2025年本屋大賞受賞作)
『消える息子』 安東 能明 2022年	★★★★	八王子市役所に勤める公務員・宮津和夫は、相模湖に連れ立った息子から、「ぼく、あそこで殺されたんだよ」という信じ難い言葉を告げられます。それ以後、和夫は水辺で謎の男を絞め殺す悪夢にうなされるようになってしまいます。息子の言葉と和夫の悪夢には、偶然とは言い難い奇妙な合致があって…。親子の前世を巡るミステリーです。主人公が、八王子市中央図書館で調べ物をする場面にもご注目ください。
『さらば愛しき魔法使い』 東川 篤哉 2017年	★★★★	八王子署の小山田刑事が、魔法使いで家政婦のマリィに助けられて犯人を捕まえるユーモアミステリーです。『魔法使いは完全犯罪の夢を見るか?』『魔法使いと刑事たちの夏』に続く第3弾で、本書には全4話収録されています。随所に八王子の地名や駅ビルなど、関連する事柄が出てきます。どこまでが実在の物か、確かめるのも楽しいですよ。
『琴子は着物の夢を見る』 ほしお さなえ 2024年	★★★★	八王子の甲州街道沿いに店をかまえる「本庄呉服店」。2代目店主の養女・琴子は、幼少時から着物に宿る記憶がみえる不思議な力を持っていました。現在は、姉弟のように育った3代目店主の次男・柿彦とともに、リユース着物店「本庄の蔵」で働いています。ある日、出張買取に行った先で、戦前のものと思われる着物と出会いますが…。「織物のまち 八王子」の歴史を知ることでもできる物語です。「琴子は着物の夢を見る」シリーズの第1弾。
『赤でもなく青でもなく』 丸井 とまと 2021年	★★★★	周りから浮かないように振る舞う高校一年生の遠藤彩と石垣渉は、お互いに対して苦手意識を持っていました。そんな二人が、高校生活初の文化祭で、「文化祭名物《伝説の富士宮やきそば屋》」のリーダーを任されることに。架空の「八王子南高等学校」を舞台に、高校生たちの悩みや葛藤を描きます。文化祭成功のため、彩と渉が「八王子まつり」に出かける場面もあります。

タイトル・著者・出版年	八王子度	あらすじ
『すべてのことは メッセージ 小説ユーミン』 山内 マリコ 2022年	★★★★	2022年にデビュー50周年を迎えたユーミンの少女時代を描いた小説。八王子の裕福な呉服店に生まれた少女・由実は大切に育てられ、皆に将来を期待される特別な存在だった。由実は遊びや、ピアノ・清元・ジャズ喫茶など様々な経験を通して、ゆたかな才能を開花させていく…。
『新人女警』 吉川 英梨 2025年	★★★★	八王子で11年前に起きた未解決の一家惨殺事件。八王子警察署の交番勤務となった新人女警・宮武エミは、親友が巻き込まれたこの事件の唯一の目撃者だった。エミは執念で犯人を追うが、交番勤務の立場では捜査できず、なかなか真相にたどり着けない。ラストに向かい暴かれた衝撃の事実とは…。武蔵野陵やいちょう祭りなども登場する、「八王子度」の高い物語です。
『あやかし電気店の 陰陽師 1』 四葉 タト 2018年	★★★★	東京・八王子のタテヨコ横町商店街にある一軒の電気店。その電気店には、人間たちの暮らしに憧れる「神様」や「あやかし」たちが家電を買いにやってくる。そんな電気店に派遣されたのは、陰陽師学校を優秀な成績で卒業した新米陰陽師の大春日拓也だった。神様たちに家電を売る仕事に戸惑いながらも、今日も電気店は不思議なお客様たちで大賑わい。
「八王子城」 (『怖い日本の名城』収録) 川奈まり子 小原猛 他 2024年	★★★★	日本各地の城でいまなお起きる、恐怖体験談を綴る歴史ミステリアンソロジー。戦国末期、北条氏照によって築かれた八王子城は、豊臣軍の猛攻により一日で落城してしまいます。御主殿にいた北条方の婦女子や武將らは、滝の上流で自刃。身投げした滝は、三日三晩血に染まったと言いつたられています。その八王子城から、「ひとり増える」などの5編を収録。小田原城の「後北条家の伝奇」の1編も収録されています。
「1939年のアロハシャツ」 (『1939年のアロハシャツ』収録) 碧野 圭 2019年	★★	八王子で織屋を営んでいた曾祖父の蔵に眠っていたアロハシャツ。生前、曾祖父が誰も入らせなかった蔵でみつかった、和風柄のヴィンテージアロハの謎を、美大生の柚葉とその友人が追いかけます。そこには、戦争に翻弄された人々の物語がありました。ハワイの慈愛と神秘を感じさせてくれる物語、全6篇のうちの1篇です。
「地蔵の理」 (『浮雲心霊奇譚 3 菩薩の理』収録) 神永 学 2017年	★★	八王子にある「首無し地蔵」で見つかった奇妙な死体。現場にかけつけた八王子千人同心の林太郎は、それ以降、幽霊に憑依されたとしか思えない状態になってしまいます。幽霊が見える赤い瞳の持ち主・浮雲と、絵師を目指す青年・八十八が、不思議な事件を解決する幕末ミステリー。土方歳三、近藤勇、そして無敵の少年剣士・沖田宗次郎も登場します。
『今昔百鬼拾遺 天狗』 京極 夏彦 2019年	★★	落とし穴に落ちた2人の女性達、高尾山で消息を絶った女性、出てきた遺体、取り換えられた衣服など次々に現れる謎とは…。犯人は誰なのか？ 目的は何なのか？ 次第に物語は女性蔑視や同性愛なども絡み混沌とする。スカッとした結末を向かえることができるのか？ 憤怒と哀切が交錯するミステリー。
『奔れ、松姫 信玄の娘』 秋月 達郎 2025年	★	武田信玄の娘・松姫は織田信長の嫡男・信忠の婚約者でしたが、両家の対立により婚約は破棄。さらに織田家が武田家に侵攻したことにより、幼い姫君たちや家臣とともに落ち延びることになります。しかし、逃走する一団の中には裏切者がまぎれているらしく…。安住の地・八王子にたどり着くまでの過酷な旅と、気高く強く生きた松姫の姿を描いた歴史小説です。
『浪人奉行 10ノ巻』 稲葉 稔 2020年	★	麹町で居酒屋を営む八雲兼四郎。ある日、八王子に殺しもいとわぬ凶悪な道場破りが出没したという噂が届きます。親友である倉持春之助も道場を構える八王子からの凶報。友の身を案じた兼四郎は、単身八王子に向かう決意を固めます。町方の手が届かぬ悪を密かに討つ、影役目“浪人奉行”兼四郎の活躍を描く時代小説シリーズの第10弾。
『焼き天ぷら』 和田 はつ子 2021年	★	日本橋にある料理屋「塩梅屋」に、夜遅く北町奉行の烏谷がやって来て、主の季蔵に「江戸で屈指の呉服屋の跡取り息子が、八王子で想い女と暮らしているらしいので、連れ戻して欲しい」と切り出した。美味しい料理と季蔵の推理が冴えわたる「料理人季蔵捕物控」シリーズの第41弾。

八王子が舞台になっている作品をご存知でしたら、ぜひ図書館へお知らせください。みなさんからの情報提供をお待ちしております！